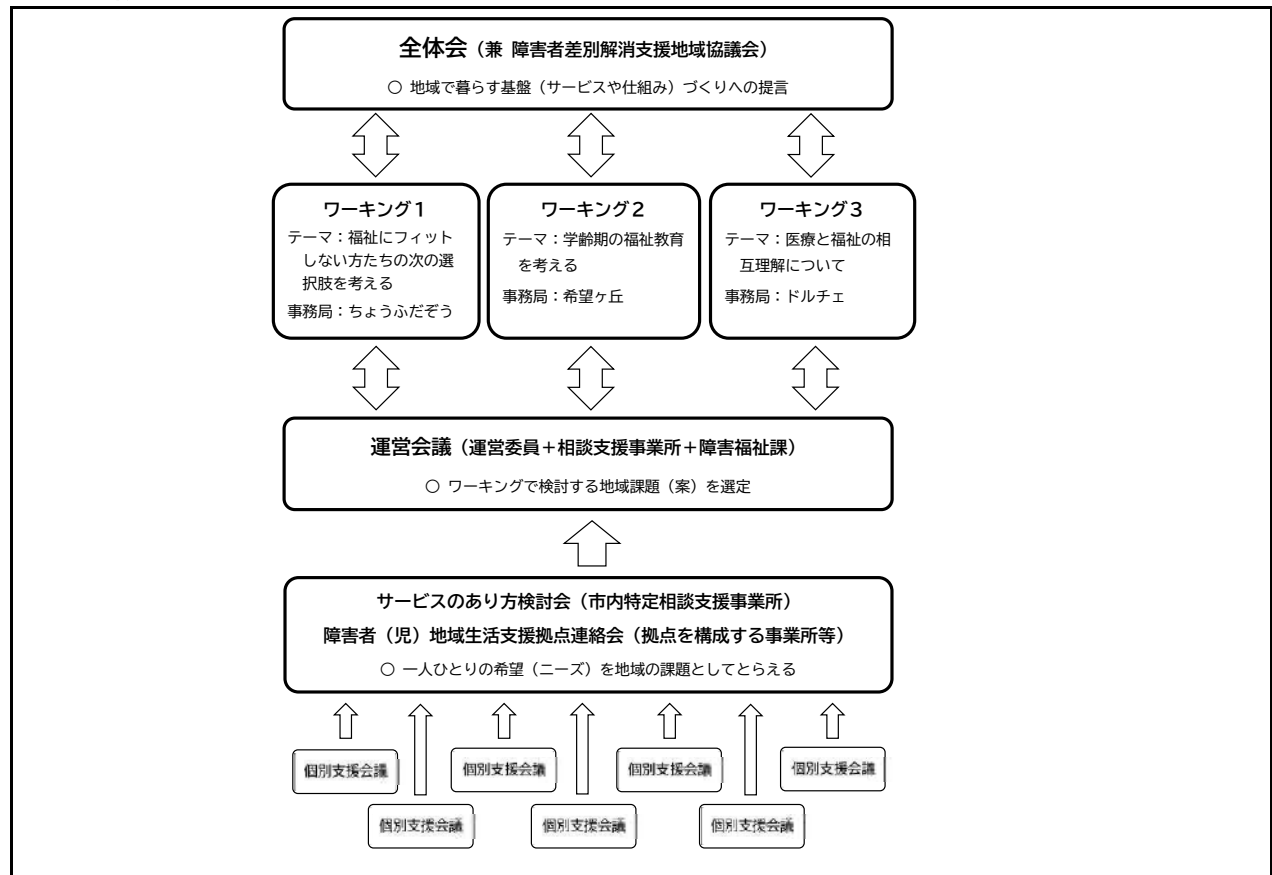


1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 調布市障害者地域自立支援協議会

(2) ホームページURL <https://www.city.chofu.lg.jp/kenkouiryou/shougaishashien/jiritsushien/index.html>

(3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	集合形式	専門 部会等	集合形式
-----	------	-----------	------

イ 開催時間

全体会	平日日中（業務時間内）	専門 部会等	その都度異なる
-----	-------------	-----------	---------

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験 年数
1	会長	谷内 孝行	桜美林大学 健康福祉学群 准教授	学識経験者		長期
2	副会長	丸山 晃	立教大学 コミュニティ福祉研究所 研究員	学識経験者		2
3	副会長	山本 雅章	社会福祉法人調布市社会福祉事業団 業務 執行理事	学識経験者		2
4		荻本 剛一	公益社団法人調布市医師会 副会長	医療関係者		4
5		樋川 宣登志	調布市立第一小学校 校長	教育関係機関		1
6		梅景 靖之	東京都立府中けやきの森学園主幹教諭	教育関係機関		2
7		坂口 昇平	調布市教育委員会 教育部 指導室 副主幹	教育関係機関		1
8		石井 喜元	調布市商工会 理事 商業部会副副会長	企業		6

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験年数
9		渡辺 里江子	府中公共職業安定所 専門援助部門統括職業指導官	雇用関係機関		2
10		加藤 美津	調布市民生児童委員協議会 障がい福祉部会長	民生委員・児童委員		1
11		井村 あゆみ	調布市聴覚障害者協会 理事（総務・福祉対策担当）	障害当事者（ピアサポーター含む）		11
12		江口 正和	調布市身体障害者福祉協会 会長	障害当事者（ピアサポーター含む）		5
13		愛沢 法子	調布市視覚障害者福祉協会 会長	障害当事者（ピアサポーター含む）		長期
14		進藤 美左	特定非営利活動法人調布心身障害児・者親の会 会長	家族・関係団体		10
15		江頭 由香	調布精神障害者家族会かささぎ会 会長	家族・関係団体		3
16		市橋 博	障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会 会長	障害当事者（ピアサポーター含む）		長期
17		内海 康範	合同会社マーレ相談支援事務所 代表社員	障害福祉サービス等事業者		1
18		名古屋 一	特定非営利活動法人ファーストステップ 理事長	障害福祉サービス等事業者		5
19		木内 洋	社会福祉法人調布市社会福祉協議会こころの健康支援課長	相談支援事業者		2
20		堀江 香	一般社団法人多摩南部成年後見センター 副所長	その他		6
21		円舘 玲子	社会福祉法人調布市社会福祉事業団 調布市障害者地域生活・就労支援センター ちょうふだぞう 施設長	相談支援事業者		10
22		栗城 耕平	社会福祉法人新樹会地域生活支援センター希望ヶ丘 施設長	相談支援事業者		7
23		田島 誠	社会福祉法人調布市社会福祉協議会地域福祉推進課 在宅支援担当課長	社会福祉協議会		2

（２）委員構成

種 別	全体会・部会名	全体会	福祉にフィットしない方たちの次の選択肢を考える	学齢期の福祉教育を考える	医療と福祉の相互理解について
学識経験者		3	1	1	1
医療関係者		1			2
保健所		0			
教育関係機関		3		2	
雇用関係機関		1			
企業		1			
障害当事者（ピアサポーター含む）		4		2	3
家族・関係団体		2	1	1	2
身体・知的障害者相談員		0			
相談支援事業者		3	1	1	3
障害福祉サービス等事業者		2			
社会福祉協議会		1	3	2	
法曹関係者		0			
民生委員・児童委員		1			
地域住民		0			
行政職員（区市町村）		0			
行政職員（都）		0			
その他		1	1		
計		23	7	9	11

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること。

サービスのあり方検討会において、情報共有や事例検討を行っている。

④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること。

サービスのあり方検討会の中で、介護保険移行や高齢障害者への支援等の課題について、情報共有や事例検討を行っている。

⑤ 医療と福祉の連携に関すること。

専門部会の中で、医療アクセスの改善を図るため、医療と福祉の相互理解に向けて、市民及び医師会医療機関向けに実態把握アンケートを実施。

⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること。

サービスのあり方検討会の中で、事例検討を通して、解決に向けた意見交換を行っている。

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること。

サービスのあり方検討会の話し合いの中で、関係機関や外部講師等を招き、ネットワーク構築について検討している。

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

専門部会及びサービスのあり方検討会の話し合いの中で、社会資源の開発及び改善を図ることも含めて検討している。

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

障害者地域自立支援協議会に障害者差別解消支援地域協議会の機能も含めて所掌事項とし、相談事例の共有、意見交換、情報共有を行っている。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

サービスのあり方検討会の中で、年2回地域生活支援拠点連絡会を開催し、地域課題の把握と拠点機能の充実へ向けた課題整理を行っている。

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

現行計画について進捗状況の報告を受け確認するとともに、令和6年度からの「調布市障害者総合計画」策定へ向けての意見具申を行っている。

⑫ 地域自立支援協議会の運営に関すること。

協議会委員から運営委員を選出し、年2回運営会議を開催し、協議会の進め方や取り扱う検討テーマ等について話し合いを行っている。

⑭ その他（講演会の開催）

協議体の取組成果を地域へ還元するため、年1回市民向け講演会を開催している。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

情報共有及び発信を図れるよう、障害のある方と関わりのあることが想定される多数の関係機関から選出された委員で構成している。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

協議内容が他分野へフィードバックされるよう多数の関係機関から選出された委員で構成している。

⑤ 地域課題の整理

全体会及び運営会議等において、地域課題の意見交換や検討を行っている。

⑥ 課題解決に向けての検討

地域課題は部会を中心に改善に向けた調査や検討を行い、全体会の場で報告し、協議している。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

現行計画について進捗状況の報告を受け確認するとともに、令和6年度からの「調布市障害者総合計画」策定へ向けての意見具申を行っている。

⑧ 社会資源の開発及び改善

協議会で検討した課題について提言を取りまとめ、市の事業への反映を図っている。

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

サービスのあり方検討会において、相談支援専門員のケアマネジメント能力の向上と均質化を図ること等をはじめ、相談支援の質の向上を図るための意見交換や研修等を実施している。

⑩ 権利擁護・虐待防止

障害者地域自立支援協議会に障害者差別解消支援地域協議会の機能も含めて所掌事項とし、相談事例の共有、意見交換、情報共有を行っている。

⑪ 相談支援過程における評価（相談支援の質の評価、機関等及びそれらの連携に関する評価、施策に関する評価、政策作成に係る提言）

サービスのあり方検討会において、相談支援専門員のケアマネジメント能力の向上と均質化を図ること等をはじめ、相談支援の質の向上を図るための意見交換や研修を実施している。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

② 専門部会やその他の各種連絡会等から検討が必要なものを取り上げている。

協議会での当事者や関係機関等からの意見等により、毎年度の専門部会での検討テーマを決定している。

③ 個別支援会議で上がった案件から検討が必要なものを取り上げている

地域生活支援拠点連絡会を通じて個別の相談場面での課題等を整理、集約し、協議会に報告している。

④ アンケート・ヒアリング等で把握した案件から取り上げている

検討テーマに応じて、専門部会においてアンケート調査等を実施している。

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

サービスのあり方検討会において、相談支援専門員のケアマネジメント能力の向上と均質化を図ること等をはじめ、相談支援の質の向上を図るための事例検討、意見交換や研修を実施している。

② 社会資源の開発及び改善

専門部会「福祉にフィットしない方たちの次の選択肢を考えるワーキング」において、既存の福祉サービスに合わず行き場がなく安心できる居場所がない障害者を対象に、地域での支援の在り方や新たな地域資源について協議した。

⑨ 教育支援

専門部会「学齢期の福祉教育を考えるワーキング」において地域域の中で福祉教育を展開するために教育と福祉の連携について協議を行った。

⑬ その他（医療分野との連携）

専門部会「医療と福祉の相互理解についてのワーキング」において、障害のある方の医療アクセス及び医療側の現状と課題を把握するため、調布市医師会が医療機関向けにアンケートを実施し、病院での受診や在宅診療並びに健診時における双方の理解をより一層深めることで、障害のある方が安心して受診できるような環境づくりのための協議を行った。

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

居宅介護事業所における慢性的な人材不足が課題。障害理解を含む人材育成及び障害分野における報酬単価の低さが現場の課題として上がっている。市内にとどまらない課題も大きいので、広域的な取り組みが望ましい。

⑦ 医療的ケア

訪問看護師の人材不足、乳幼児期からの預け先不足、特別支援学校との連携、通所及び短期入所施設の少なさ、支援に入ることのできる居宅介護事業所の少なさ、相談支援事業所の引き受け手の少なさ、家族支援の少なさ等全体として資源の少なさが課題。教育、福祉、医療が一体となった支援が必要広域的な観点で整備に取り組めるとよい。

4 地域自立支援協議会の活性化

（１）地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	ある程度活性化した。	専門部会等	ある程度活性化した。
-----	------------	-------	------------

イ 活性化したと評価する理由

専門部会における検討に進捗が見られた。

（２）ＩＣＴの活用

- ・ 集合形式では参加が困難な障害者等はWeb会議を活用して参加
- ・ 講演会を録画して後日オンデマンド配信